



ハリス グローバル バリューストックファンド(年4回決算型)の 基準価額の下落について

昨日の海外株式市場は、新型コロナウイルスの影響により禁止されていた集会活動を再開した地域で感染者数や入院者数の増加が加速したことや、パウエルFRB(米連邦準備理事会)議長が政策金利をあと2年間ゼロ近辺に維持する可能性があるコメントし景気低迷が続くとの見方が広がったことなどから、米国市場を中心に大きく下落しました。為替市場では主要通貨に対してやや円高となりました。このような中、6月12日のハリス グローバル バリューストックファンド(年4回決算型)の基準価額は、前営業日(6月11日)と比べ614円下落(▲7.47%)の7,609円となりました。また、当ファンドで多く保有している金融や自動車を含む景気敏感セクターの銘柄が大きく下落したことも、基準価額の押し下げ要因となりました。

表① 主要各国株価指数

	6月10日	6月11日	騰落率
米国(NYダウ)	26,989.99	25,128.17	▲6.90%
スイス(SMI)	10,147.18	9,828.58	▲3.14%
ドイツ(DAX)	12,530.16	11,970.29	▲4.47%
英国(FT100)	6,329.13	6,076.70	▲3.99%

※基準価額への反映を考慮して前営業日の値を表示しています。

表② 主要通貨の対円為替レート

	6月11日	6月12日	騰落率
米ドル	107.01	106.69	▲0.30%
スイスフラン	113.42	112.97	▲0.40%
ユーロ	121.80	120.38	▲1.17%
英ポンド	136.34	133.96	▲1.75%

※対顧客電信売買相場仲値(TTM)を表示しています。

当ファンドは実質的な運用をマザーファンドで行っています。マザーファンドの外貨建資産の運用指図に関する権限につきましては、米ハリス・アソシエイツ・エル・ピー(本社はイリノイ州シカゴ。以下「ハリス・アソシエイツ社」といいます。)に運用を委託しています。

新型コロナウイルスの影響は依然として残るものの、ハリス・アソシエイツ社では、ワクチンの開発で進展が見られることに勇気づけられています。それでも、ワクチンが利用できるようになるまでには、まだ数ヶ月はかかると見られます。今のところ、グローバルの経済は、通常の営業を再開するのに様々な段階にあり、企業によってもまちまちです。ハリス・アソシエイツ社では、多くの企業が、従業員を復帰させ、事業活動を安全に再開させるために、プロセスや手順の変更を機敏に行っていることを心強く思っています。ハリス・アソシエイツ社では、進展の度合いは様々ではあるものの、経済は長期的には通常の水準へと回復するものと見ています。ハリス・アソシエイツ社では、保有している企業のファンダメンタルズは昨日の株価が示すほどには弱まってはいないと確信しています。実際に、市場の混乱を機に、本質的価値に比べてより割安になった銘柄の買い増しを行う一方、株価が比較的底堅い銘柄については一部売却を行いました。このような投資行動によって、今後の株式市場の回復を効果的に捉えることができると確信しています。

■本資料は、朝日ライフ アセットマネジメント(以下、当社といいますが)が、情報提供を目的として作成したものであり、当該商品の勧誘を目的としたものではありません。また、法令に基づく開示資料ではありません。■当該ファンドは価格変動リスクや流動性リスク等を伴う証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には為替リスクもあります。)ので、市場環境等によって基準価額は変動します。したがって投資元本が保証されているものではありません。運用による損益はすべて投資家のみなさまに帰属します。■本資料は当社が信頼できると判断した情報を元に、十分な注意を払い作成しておりますが、当社はその正確性や完全性をお約束するものではありません。■本資料に記載されている内容は、今後予告なしに変更することがあります。■ファンドの取得の申し込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ず内容についてご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。■当該ファンドは、金融機関の預金または保険契約ではありませんので、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入いただいた場合は、投資者保護基金による支払いの対象にはなりません。 2006169

■投資信託に係るリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とし投資元金が保証されていないため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により投資一単位当たりの価値が変動します。従ってお客様のご投資された金額を下回ることもあります。

又、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資にあたっては投資信託説明書(交付目論見書)をよくご覧ください。

■投資信託に係る手数料等について

[ご投資頂くお客様には以下の費用をご負担いただきます。]

■申込時に直接ご負担いただく費用 …… 申込手数料 上限 5.5%(税抜 5.0%)

■換金時に直接ご負担いただく費用 …… 信託財産留保額 上限 0.3%

■投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用

…… 信託報酬 上限 2.035%(税抜 1.85%)

■その他の費用 …… 上記以外に保有期間等に応じてご負担頂く費用があります。

詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)でご確認ください。

《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率等につきましては、朝日ライフ アセットマネジメントが運用するすべての投資信託が徴収するそれぞれの費用のうち、最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前によく投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

朝日ライフ アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者関東財務局長(金商)第 301 号

加入協会：一般社団法人投資信託協会/一般社団法人日本投資顧問業協会

■本資料は、朝日ライフ アセットマネジメント(以下、当社といいます)が、情報提供を目的として作成したものであり、当該商品の勧誘を目的としたものではありません。また、法令に基づく開示資料ではありません。■当該ファンドは価格変動リスクや流動性リスク等を伴う証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には為替リスクもあります。)ので、市場環境等によって基準価額は変動します。したがって投資元本が保証されているものではありません。運用による損益はすべて投資家のみなさまに帰属します。■本資料は当社が信頼できると判断した情報を元に、十分な注意を払い作成しておりますが、当社はその正確性や完全性をお約束するものではありません。■本資料に記載されている内容は、今後予告なしに変更することがあります。■ファンドの取得の申し込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ず内容についてご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。■当該ファンドは、金融機関の預金または保険契約ではありませんので、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入いただいた場合は、投資者保護基金による支払いの対象にはなりません。 2006169